

## 発 言 通 告 書

発言者氏名	竹岡 力
発言の会議	令和8年 6月 9日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長、教育長

### 【件名及び発言の要旨】

#### 1 全天候型の遊び場について

- (1) 当事者である親子の声を直接聴く機会を設けることについて
- (2) 発達段階に応じてゾーニングをすることについて
- (3) 利用料を無料もしくは可能な限り低廉な価格設定とすることについて
- (4) 小物については統廃合となった学校の備品を活用するなど、創意工夫で遊具を生み出すことについて
- (5) 複合施設内に一般図書の配架や、中央図書館のサテライト機能を併せて設置する必要性について

#### 2 「幼保小」の連携について

- (1) 「小1ギャップ」について
  - ア 市長及び教育長の現状認識について
  - イ 幼児教育・保育と学校教育の制度・文化の断絶と捉え直し、市長部局と教育委員会が連携体制を整備することについて

- (2) 幼児教育・保育から小学校への接続期を一体的に捉えたカリキュラムを、市長部局と教育委員会が合同で作成することについて

### 3 新倉教育長3期目の教育行政について

- (1) これまでの実績と自己評価について
- (2) 横須賀の目指す教育の姿に近づいた実感及び新倉教育長がかじを取った教育行政に対する評価について
- (3) 新倉教育長の実績とも言える教育環境整備の推進について
  - ア これまでの振り返りについて
  - イ 中学校の再編について
- (4) 自ら言及しておきながら積み残した課題とも言える不登校対策について